

2017年6月6日 全8頁

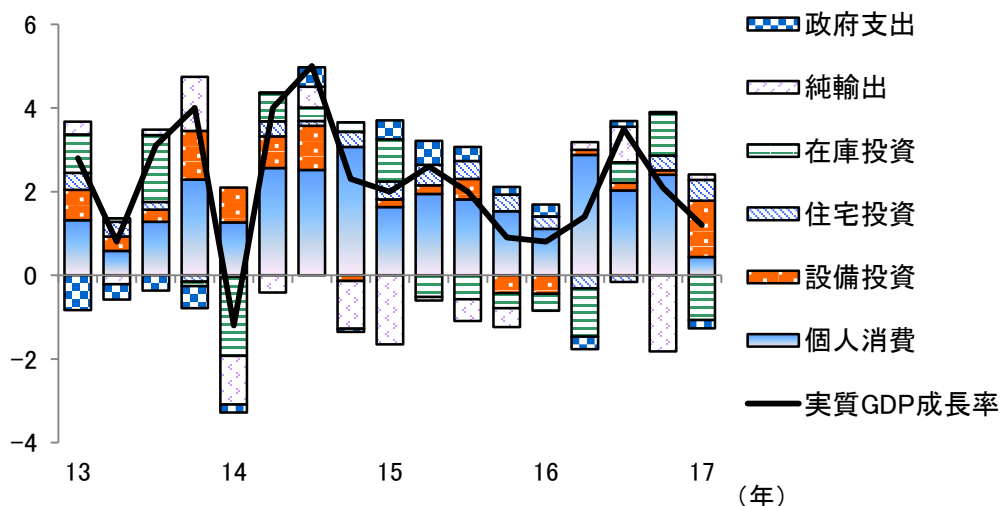
# アメリカ経済グラフポケット (2017年6月号)

2017年6月5日発表分までの主要経済指標

ニューヨークリサーチセンター  
上野 まな美  
エコノミスト 橋本 政彦

## 実質GDPの推移

(前期比年率、%、%pt)



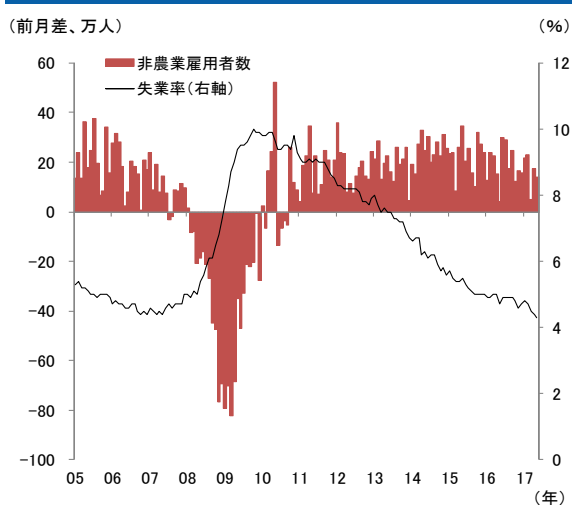
(前期比年率、%、%pt)	2015			2016				2017
	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3
国内総生産	2.6	2.0	0.9	0.8	1.4	3.5	2.1	1.2
個人消費	2.9	4.3	3.0	3.5	4.3	3.0	3.5	0.6
設備投資	1.6	1.0	1.4	0.9	1.0	1.4	0.9	11.4
住宅投資	14.9	-7.7	-4.1	9.6	-7.7	-4.1	9.6	13.8
政府支出	3.2	-1.7	0.8	0.2	-1.7	0.8	0.2	-1.1
輸出	2.9	1.8	10.0	-4.5	1.8	10.0	-4.5	5.8
輸入	2.9	0.2	2.2	9.0	0.2	2.2	9.0	3.8
寄与度								
個人消費	1.9	1.8	1.5	1.1	2.9	2.0	2.4	0.4
設備投資	0.2	0.5	-0.4	-0.4	0.1	0.2	0.1	1.3
住宅投資	0.5	0.4	0.4	0.3	-0.3	-0.2	0.4	0.5
在庫投資	-0.5	-0.6	-0.4	-0.4	-1.2	0.5	1.0	-1.1
政府支出	0.6	0.3	0.2	0.3	-0.3	0.1	0.0	-0.2
輸出	0.4	-0.4	-0.3	-0.1	0.2	1.2	-0.6	0.7
輸入	-0.4	-0.2	-0.1	0.1	-0.0	-0.3	-1.3	-0.6

(出所) BEA, Haver Analyticsより大和総研作成

## 雇用環境<sup>1</sup>

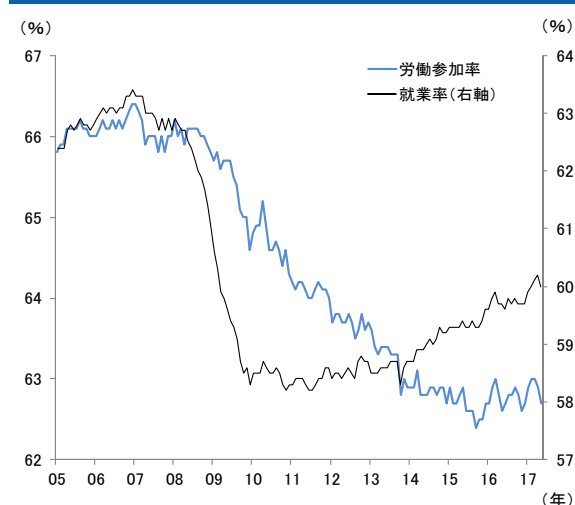
- ◆ 5月の失業率は4.3%と前月から0.1%ポイント低下し、2001年5月以来16年ぶりの低水準を記録した。労働参加率の低下が、失業率を押し下げる要因となった。
- ◆ 5月の非農業雇用者数の前月差は13.8万人増となった。前月から雇用者数の伸びが鈍化し、好不調の基準と言われる20万人を下回った。非農業雇用者数の前月差の6ヵ月平均は16.1万人増であった。

### 非農業雇用者数と失業率



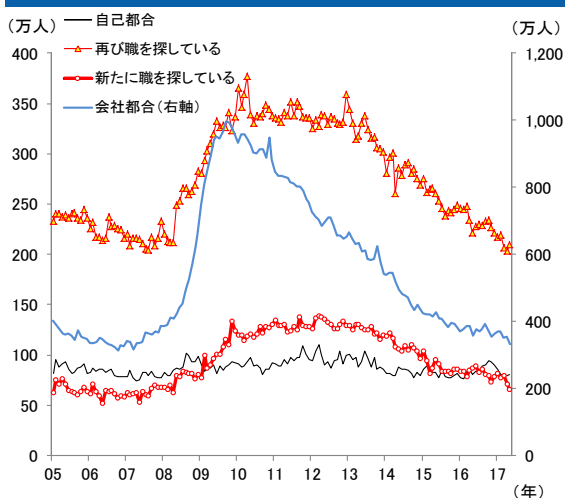
(出所)BLS, Haver Analyticsより大和総研作成

### 労働参加率と就業率



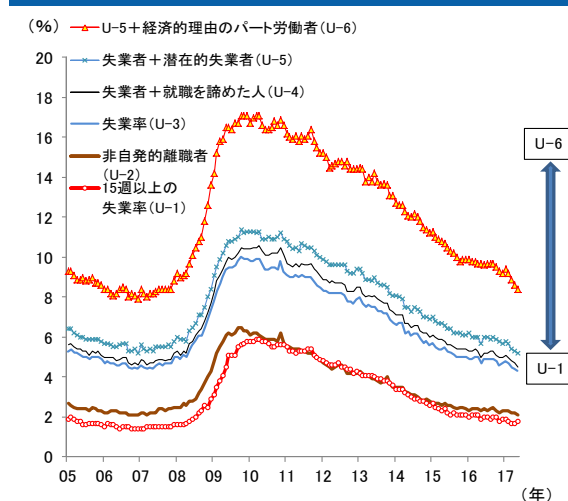
(出所)BLS, Haver Analyticsより大和総研作成

### 理由別失業者数



(出所)BLS, Haver Analyticsより大和総研作成

### 定義別失業率



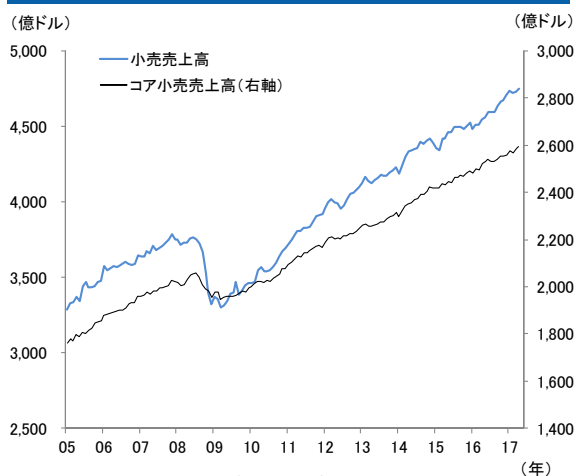
(出所)BLS, Haver Analyticsより大和総研作成

<sup>1</sup> 大和総研 ニューヨークリサーチセンター 橋本政彦「失業率が一層低下も、賃金は停滞」(2017年6月5日)参照。[http://www.dir.co.jp/research/report/overseas/usa/20170605\\_012038.html](http://www.dir.co.jp/research/report/overseas/usa/20170605_012038.html)

## 個人消費

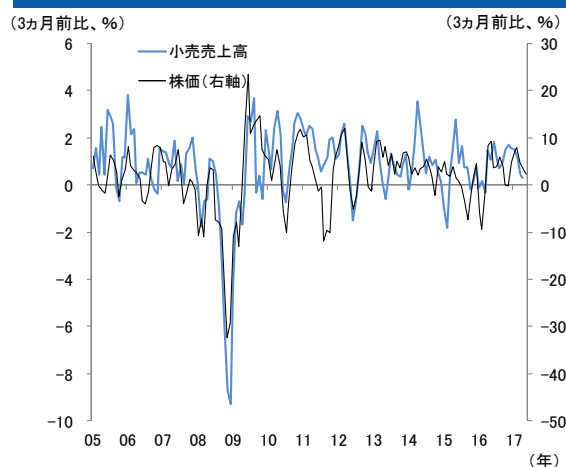
- ◆ 4月の小売売上高は前月比0.4%増加した。前月が上方修正され、2ヵ月連続の増加となった。コア小売売上高は同0.2%増加した。
- ◆ 5月の自動車販売台数は前月比1.3%減少し、年率換算で1,666万台であった。3ヵ月連続で1,700万台を下回り、このところ頭打ちになっている。
- ◆ 5月のロイター/ミシガン大消費者センチメントは、前月の97.0から97.1へとわずかに上昇した。2016年11月の大統領選挙以来、安定した高水準を保っている。

### 小売売上高の推移



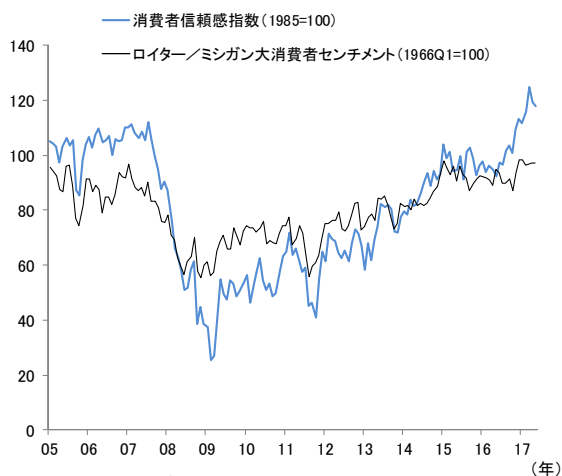
(注)コア小売売上高は自動車ディーラー、ガソリンスタンド、  
建材・園芸、飲食サービスを除く。  
(出所) Census, Haver Analyticsより大和総研作成

### 消費と株価



(注) 株価はWilshire5000。  
(出所) Census, Dow Jones, Haver Analyticsより大和総研作成

### 消費者マインド



(出所) ロイター/ミシガン大, Conference Board, Haver Analyticsより  
大和総研作成

### 自動車販売台数

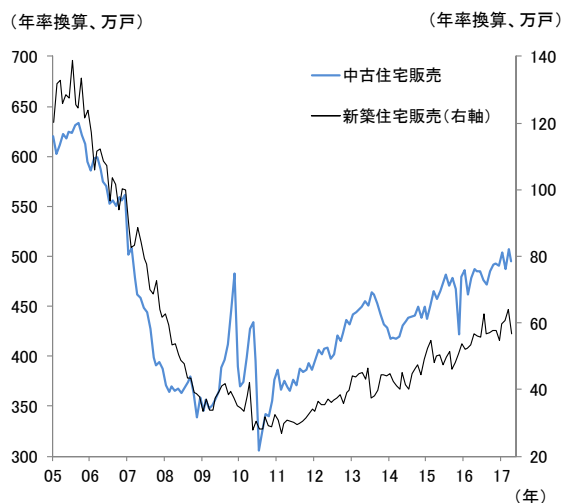


(出所) Autodata, Haver Analyticsより大和総研作成

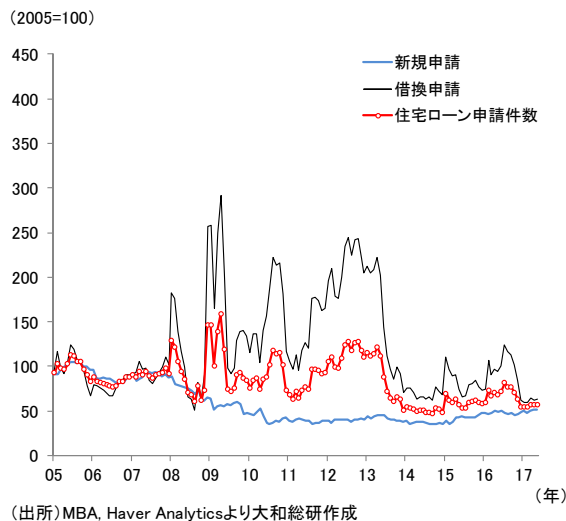
## 住宅市場

- ◆ 4月の新築住宅着工（一戸建てと集合住宅を含む）は、前月比2.6%減の年率換算117.2万戸であった。2ヵ月連続で減少し、2016年11月以来の低水準となった。集合住宅の着工が減少し、全体を押し下げた。
- ◆ 4月の中古住宅販売（一戸建て）は、前月比2.4%減の年率換算495.0万戸であった。2007年2月以来の高水準であった前月より減少に転じたが、高水準を維持した。
- ◆ 4月の新築住宅販売（一戸建て）は、前月比11.4%減の年率換算56.9万戸となった。前月から大きく落ち込み、4ヵ月ぶりの減少となった。
- ◆ 3月のケースシラー住宅価格指数（20都市）は、前月から0.9%上昇した。住宅価格は低水準の在庫を反映し、2016年6月以来上昇が続いている。

### 住宅販売（一戸建て）



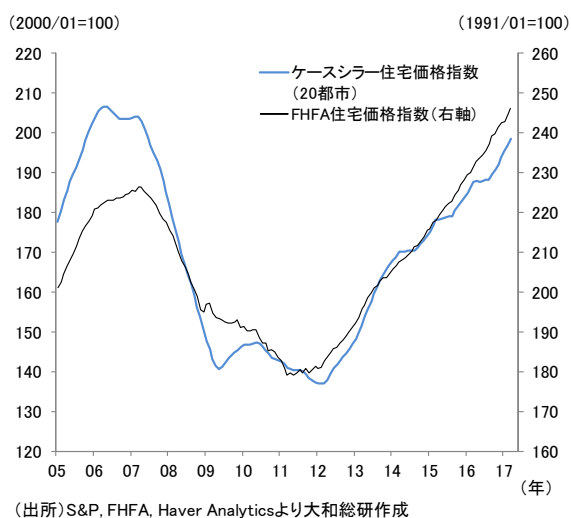
### 住宅ローン申請件数



### 住宅着工と建設業者の景況感



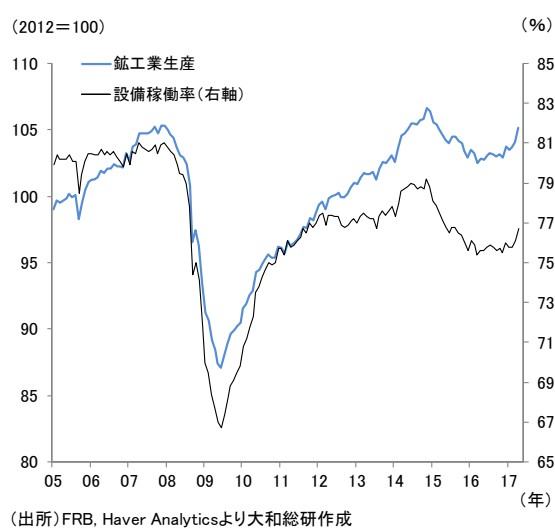
### 住宅価格



## 企業動向

- ◆ 4月の鉱工業生産指数は前月比1.0%と、2014年2月以来の大幅な上昇となった。指数全体の約8割を占める製造業（SICベース）が同1.0%上昇し、指数全体の上昇に寄与した。
- ◆ 4月の国防・民間航空機を除く資本財受注（コア資本財受注）は、前月から0.1%増加した。
- ◆ 5月のISM製造業指数は、前月から0.1%ポイント上昇の54.9%であった。小幅な上昇ではあるが、3ヵ月ぶりの上昇となった。非製造業指数は前月から0.6%ポイント低下し、56.9%となった。前月から低下に転じたものの、高水準を維持している。

### 鉱工業生産と設備稼働率



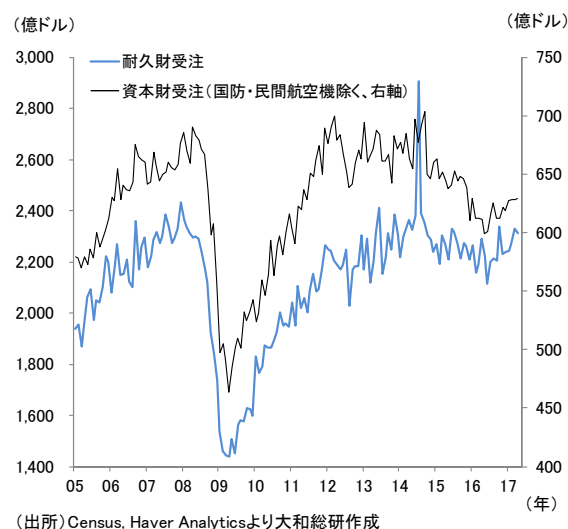
### 企業の景況感



### 製造業の出荷・在庫



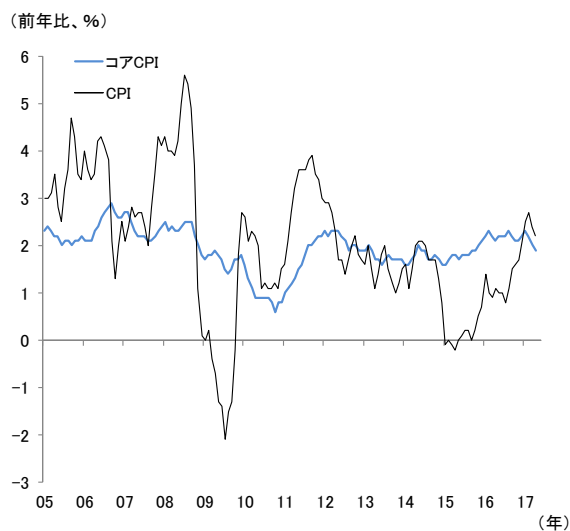
### 耐久財受注



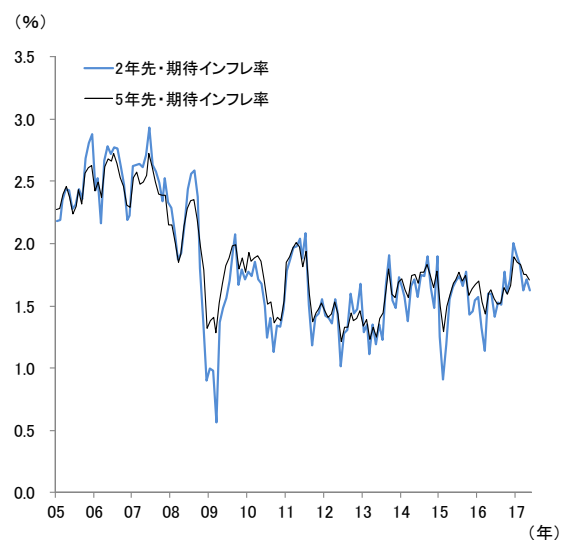
## 物価動向

- ◆ 4月のCPI（消費者物価指数）は前年比2.2%上昇した。コアCPIは同1.9%上昇したが、3ヵ月連続で前月から上昇幅が縮小した。
- ◆ 5月の2年先期待インフレ率は1.62%で、5年先期待インフレ率は1.71%と、ともに前月から低下した。
- ◆ 5月末のWTI原油先物価格は48.32ドル/バレルで、4月末の49.33ドルから下落した。5月25日のOPEC総会での主要産油国による協調減産の延長合意が期待され、直前にかけて価格が上昇したものの、減産量が十分でなかったことなどから、月末値は低下した。

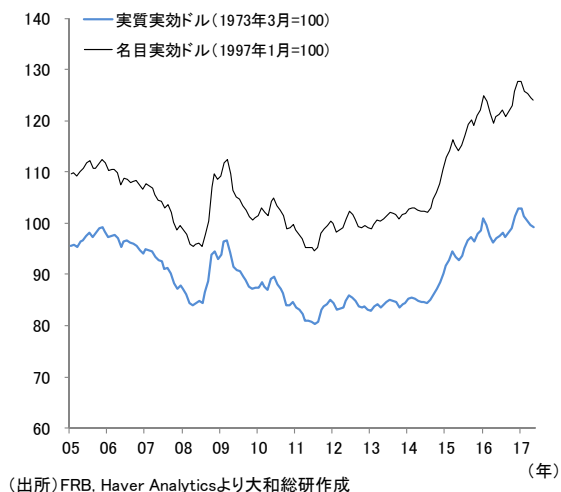
### 消費者物価指数



### 期待インフレ率



### 実効為替レート(ブロード)



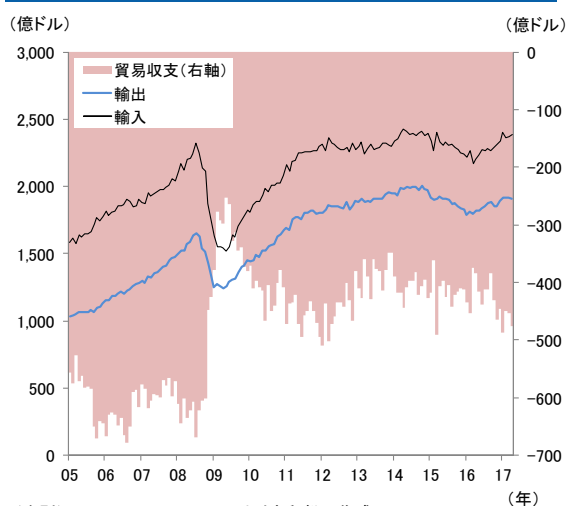
### コモディティ価格



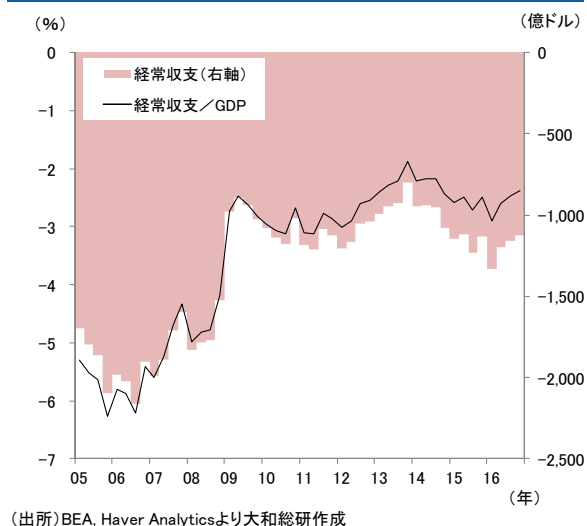
## 輸出入・経常収支

- ◆ 4月の貿易収支（財・サービス）は、輸出が前月比0.3%減少し、輸入が同0.8%増加した。この結果、貿易赤字は同5.2%増加の約476億ドルとなった。
- ◆ 輸出入（財）を商品別に見ると、輸出では医薬品などの消費財と自動車・同部品が主に減少した。一方の輸入では、携帯電話をはじめとする消費財の増加が目立った。
- ◆ 地域別（財）では、日本への輸出が前年比27.3%増と大幅に増加した。中国向けも同13.5%増加したが、欧州向けは同1.0%減少した。輸入は、中国からの輸入が同13.7%増加したほか、日本からの輸入が同3.0%増、欧州からの輸入も同2.3%増となった。

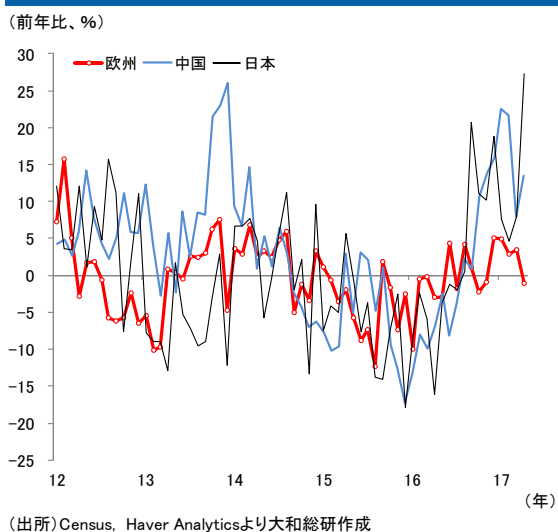
### 貿易収支動向



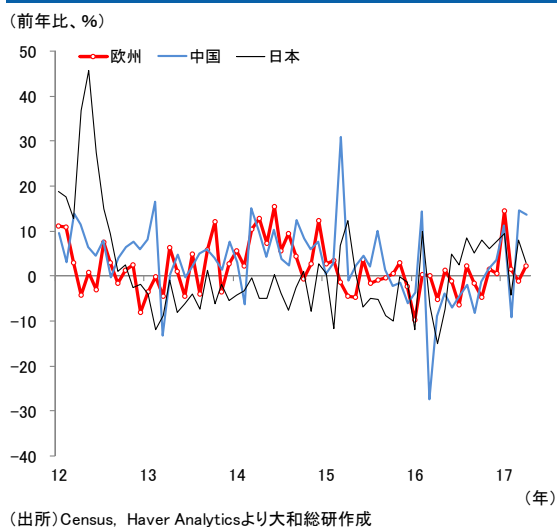
### 経常収支の推移



### 国・地域別輸出動向



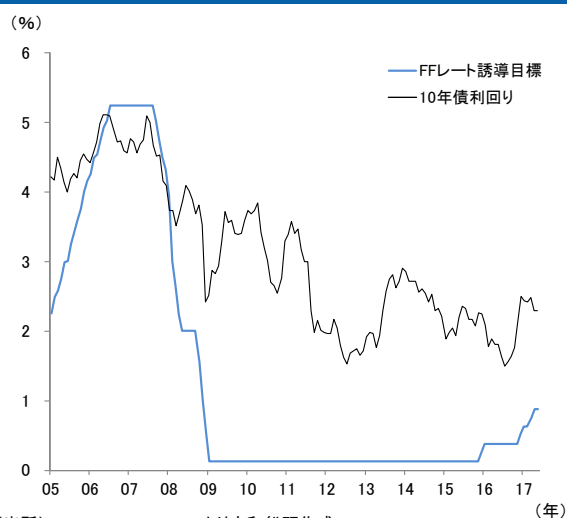
### 国・地域別輸入動向



## 金融・財政

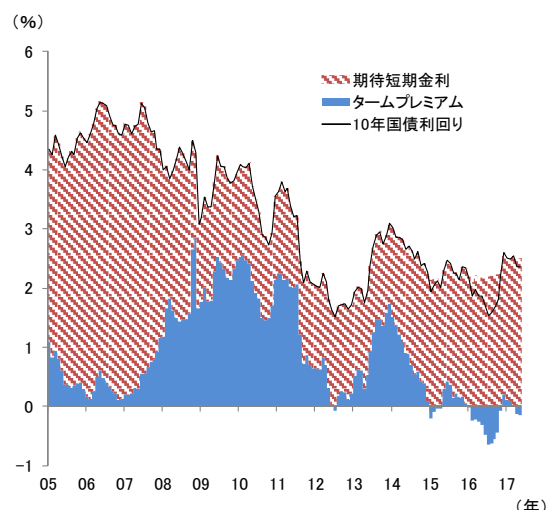
- ◆ 2017年5月のFOMC（連邦公開市場委員会）において、政策金利であるFF（フェデラルファンド）レートの目標レンジが据え置かれ、0.75-1.00%とすることが決定された。保有する資産規模については現在の水準を維持することが決定され、FRBの資産残高は、直近の5月31日の週平均が約4兆5,100億ドルであった。
- ◆ 5月の長期金利（10年債利回り）の平均値は2.30%であった。フランス大統領選挙後に金利が一時上昇したものの、その後は低下し、平均値は前月と同水準となった。
- ◆ 連邦政府の財政収支（12ヵ月平均）は、赤字幅が徐々に拡大しつつある。

### 政策金利・長期金利



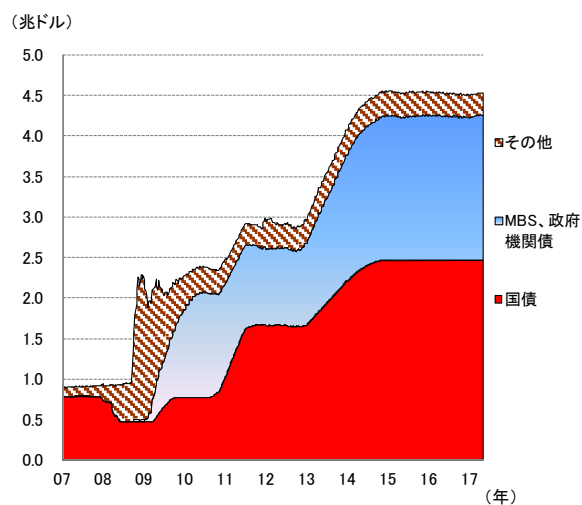
(出所)FRB, Haver Analyticsより大和総研作成

### タームプレミアム(10年)



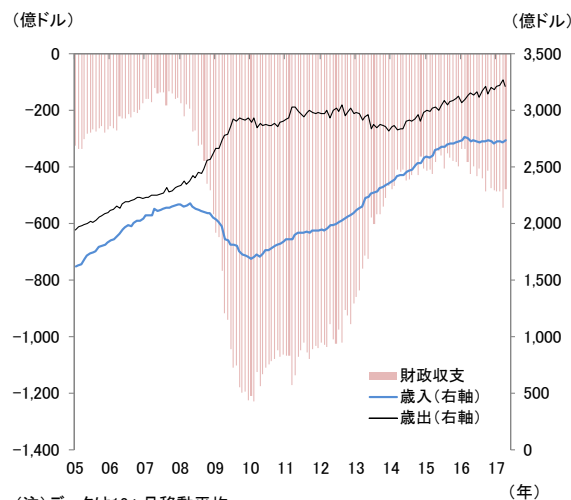
(出所)NY連銀, Haver Analyticsより大和総研作成

### FRBの資産構成



(出所)FRB, Haver Analyticsより大和総研作成

### 連邦政府の財政収支



(注)データは12ヵ月移動平均。

(出所)米財務省, Haver Analyticsより大和総研作成